

宇都宮市スポーツ振興基本計画の概要

「スポーツ心」を育むまち～うつのみや～

第1章 計画の策定にあたって

計画策定の目的
 ・スポーツの役割・意義がますます重要になる中で、市民ニーズに的確に対応し、本市のスポーツ振興を総合的・計画的に推進するため、本計画を策定するもの

計画の位置づけ
 ・「第4次宇都宮市総合計画改定基本計画」に基づく計画
 ・「うつのみや人づくりビジョン（宮っこ未来ビジョン）」の個別計画
 ・スポーツ振興法第4条第3項に基づく、スポーツ振興に関する計画

計画期間
 ・平成18年度～平成27年度までの10年間

第2章 スポーツの意義

【スポーツの意義・役割】 ①豊かで活力ある生活の実現 ②地域社会の連携強化 ③青少年の育成 ④国際理解の推進 ⑤経済活動への寄与

第3章 スポーツを取り巻く現状と課題

社会環境の変化

- ライフスタイルの変化
- 高齢者のスポーツ活動の進展
- 科学技術の進展
- ビッグスポーツイベントの開催
- 国・県の動向

宇都宮市のスポーツ振興の課題

- 地域スポーツ活動の促進
 - 地域スポーツ団体のネットワーク
 - 指導者の育成・確保
 - 地域におけるスポーツ施設の充実
- スポーツ参加機会の拡大
 - 初心者へのスポーツへの誘導
 - 市民の自立的・主体的なスポーツ活動への支援
 - 情報提供の充実
- 競技スポーツの振興
 - 企業・団体のサポート体制の確立
 - レベルの高い競技に触れる機会の提供
- スポーツ施設の充実
 - スポーツ施設の老朽化への計画的対応
 - スポーツ施設の質・機能の向上
 - バランスあるスポーツ施設の配置
 - 身近なスポーツ施設の確保・充実
 - 施設の利用者サービスの向上に向けた効率的・効果的な管理運営

第4章 スポーツ振興の基本的な考え方

基本理念

いつでも、だれもが、いつまでも、スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現

||

「スポーツ心」を育むまち

・・・※

基本目標

スポーツ人口の拡大

||

20歳以上市民の週1回以上のスポーツ活動実施率 **50%**

第5章 スポーツ振興のための施策・事業

施策・事業実施にあたっての視点

- 市民との協働
- 民間企業との連携、役割分担
- 市民に身近なスポーツ活動の場の確保
- 県や他市町との連携
- スポーツ施設のあり方の見直し

スポーツ振興における4つの柱と基本施策

- 【機会】** スポーツニーズに対応したスポーツ事業の充実
 - 主要施策・事業
 - スポーツ活動団体の育成・支援
 - スポーツ教室、講習会の開催
 - スポーツ大会の開催・支援
 - プロスポーツや全国大会の誘致
 - プロスポーツチームへの支援の検討
 - 野外活動事業の充実
- 【人】** 市民スポーツを支援する人材の育成
 - 主要施策・事業
 - スポーツリーダーの育成
 - スポーツ人材バンクの充実
- 【場】** スポーツ施設の整備・充実
 - 主要施策・事業
 - 市総合運動公園の整備
 - プールの再編
 - 地域におけるスポーツ活動の場の確保
 - 既存スポーツ施設の改修
 - スポーツ施設の管理運営の充実
- 【情報・ネットワーク】** スポーツ情報やネットワーク・サポート体制の充実
 - 主要施策・事業
 - スポーツの普及・啓発
 - スポーツ情報システムの充実
 - スポーツ組織のネットワーク・サポート体制の充実

第6章 スポーツ振興のための重点施策・事業

地域スポーツクラブの育成

【指標】
 クラブ数 1か所 ⇒ 5か所

スポーツ情報の提供の充実

【指標】
 情報システムへのアクセス数 数値なし ⇒ 90,000回

指導者の育成・確保

【指標】
 スポーツ人材バンクの登録者数 244人 ⇒ 600人

スポーツ施設の整備・充実

【指標】
 市スポーツ施設の利用者数 996,487人 ⇒ 1,050,000人

第7章 計画推進のために

生涯スポーツ社会の実現に向けた役割

計画の実現に向けて

※ この計画においては、『スポーツをしたい・続けたいという気持ち、さらには、スポーツを通して、体力や精神力、責任感や思いやりの気持ちを身につけたいなど、人間力の向上を目指す心を「スポーツ心」と定義します。

※ 指標は平成16年と平成22年の数値